

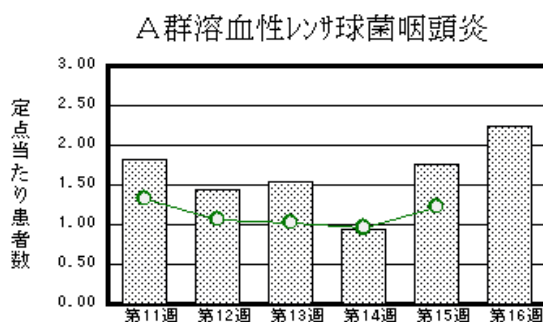
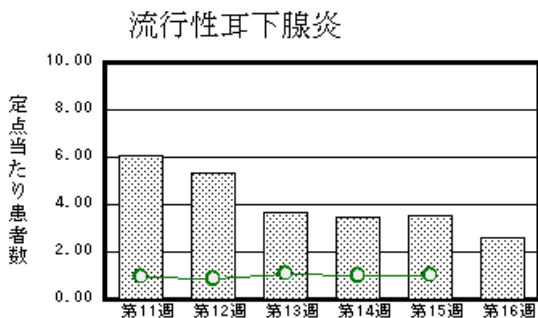
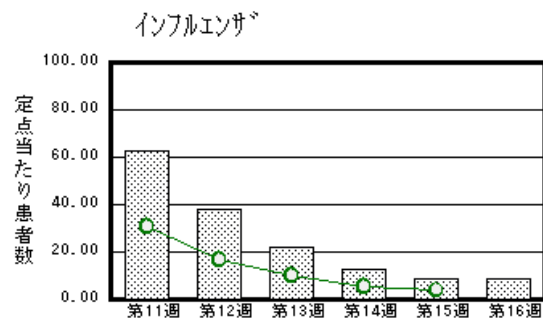
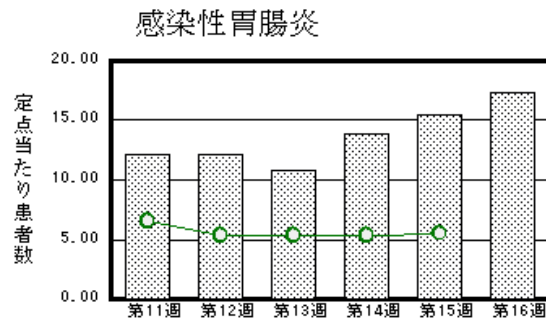
福井県感染症発生動向調査速報

<<平成17年>>

発行日：平成17年4月27日
 発行：福井県健康福祉部健康増進課
 福井県衛生環境研究センター
 kansen@erc.pref.fukui.jp

注目疾患の動向

- 【今週の上位5疾患】 感染性胃腸炎363名(17.29名) インフルエンザ269名(8.68名) 流行性耳下腺炎55名(2.62名) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎47名(2.24名) 水痘42名(2.00名) ()内は定点当たり人数
- 【報告数の多い疾患】 感染性胃腸炎(363名) インフルエンザ(269名) 流行性耳下腺炎(55名) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(47名) 水痘(42名)
- 【感染性胃腸炎】報告数は363名です。定点あたり患者報告数は増加しています(15.50名 17.29名)。地域別にみると福井地区26.71名、奥越地区21.00名、二州地区19.67名、丹南地区12.25名、坂井地区8.67名の順となっています。
- 【インフルエンザ】報告数は269名です。定点あたり患者報告数は減少しました(8.78名 8.68名)。地域別にみると丹南地区16.75名、奥越地区9.33名、若狭地区9.00名、二州地区7.00名、福井地区5.00名、坂井地区0.67名の順となっています。5週連続で低下が続いています。
- 【流行性耳下腺炎】報告数は55名です。定点あたり患者報告数は減少しました(3.55名 2.62名)。地域別にみると坂井地区4.33名、丹南地区3.75名、福井地区2.71名の順になっています。
- 【A型溶血性レンサ球菌咽頭炎】報告数は47名です。定点あたり患者報告数は増加しています(1.77名 2.24名)。地域別にみると奥越地区6.50名、福井地区2.57名、丹南地区2.50、二州地区2.00名となっています。



棒グラフは福井県、折れ線グラフは全国の数値を表しています。
 各疾患の動向グラフについては福井県感染症情報のホームページをご覧ください。

感染症週報全国版の要点

2005年第14週号(4月4日～4月10日)要点

発生動向総覧	<第14週>ヘルパンギーナの定点当たり報告数は増加し、過去5年間の同時期と比較してかなり多い/その他最新動向
注目すべき感染症	<インフルエンザ、特にインフルエンザ脳症について>第14週の全国レベルでの定点当たり報告数は5.24で、第9週のピーク以降は大幅な低下が続いている
病原体情報	インフルエンザウイルス2004/05シーズン /冬季の感染性胃腸炎関連ウイルス2004/05シーズン
速報	インフルエンザ脳症が疑われた小児からのインフルエンザウイルスの分離－秋田市
海外感染症情報	アンゴラでのマールブルグ病流行－更新/カンボジア:鳥インフルエンザ流行－更新/ベトナムでの鳥インフルエンザ流行－更新/
感染症の話	<今週はお休みです>

詳細は国立感染症研究所感染症情報センターのホームページをご覧ください。 <http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>

全数届出の感染症(福井県)

- 1類感染症:報告はありませんでした。
- 2類感染症:報告はありませんでした。
- 3類感染症:報告はありませんでした。
- 4類感染症:報告はありませんでした。
- 5類感染症全数把握対象:報告はありませんでした。

福井県感染症発生動向調査

[定点報告:5類感染症(週報分)] 平成17年 第16週 平成17年4月18日(月)~平成17年4月24日(日)

定点種別 (定点数)	保健所 病名	福井	坂井	二州	若狭	奥越	丹南	計	前週	全国(15週)
インフル エンザ (31)	インフルエンザ (高病原性鳥イン フルエンザを除く)	50 5.00	2 0.67	28 7	27 9	28 9.33	134 16.75	269 8.68	281 8.78	17632 3.75
小児科 (21)	RSウイルス感 染症									44 (14週)
	咽頭結膜熱	9 1.29	1 0.33		1 0.5	1 0.5	1 0.25	13 0.62	8 0.36	505 0.17
	A群溶血性レンサ 球菌咽頭炎	18 2.57		6 2		13 6.5	10 2.5	47 2.24	39 1.77	3747 1.23
	感染性胃腸炎	187 26.71	26 8.67	59 19.67		42 21	49 12.25	363 17.29	341 15.5	16793 5.51
	水痘	16 2.29		9 3		3 1.5	14 3.5	42 2.00	58 2.64	4490 1.47
	手足口病									523 0.17
	伝染性紅斑	1 0.14		1 0.33			1 0.25	3 0.14	4 0.18	685 0.22
	突発性発しん	9 1.29		4 1.33		2 1	7 1.75	22 1.05	6 0.27	2072 0.68
	百日咳								4 0.18	25 0.01
	風しん									14 0.00
	ヘルパンギー ナ							2 0.5	2 0.10	410 0.13
	麻しん(成人麻し んを除く)									4 0.00
流行性耳下腺 炎	19 2.71	13 4.33	4 1.33	4 2		15 3.75	55 2.62	78 3.55	3126 1.03	
眼科 (3)	急性出血性結膜 炎									17 0.03
	流行性角結膜 炎									479 0.74
基幹 (6)	細菌性髄膜炎									2 0.00
	無菌性髄膜炎									11 0.02
	マイコプラズマ肺 炎									122 0.26
	クラミジア肺炎(オム 病は除く)									6 0.01
	成人麻しん									1 0.00

インフルエンザは、小児科定点+内科定点

細字は定点当たり患者数

(注) 印は、平成15年11月5日以降届出対象疾患。全国の集計は第14週分である。

福井県感染症発生動向調査(定点報告:5類感染症)

平成17年第16週 平成17年4月18日(月)～平成17年4月24日(日)

インフルエンザ 定点	インフルエンザ(高病原性鳥インフルエンザを除く)	小児科 定点	RSウイルス 感染症	咽頭結 膜熱	A群溶 血性レ ンサ球 菌咽頭 炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口 病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	百日咳	風しん	ヘルパ ンギー ナ	麻しん (成人 麻しん を除く)	流行性 耳下腺 炎	眼科・基幹 定点	急性出血 性結膜炎	流行性角 結膜炎	細菌性髄 膜炎	無菌性髄 膜炎	マイコプラ ズマ肺炎	クラミジア 肺炎(オウ ム病を除 く)	成人麻し ん	
6ヶ月未満	1	6ヶ月未満				5	1			1						6ヶ月未満								
12ヶ月未満	6	12ヶ月未満		2		33	7			12					1	12ヶ月未満								
1歳	23	1歳		2	2	78	6			8					2	1歳								
2歳	25	2歳		1	4	46	9			1			1		8	2歳								
3歳	30	3歳		2	5	53	7		1				1		7	3歳								
4歳	15	4歳		2	8	30	6								15	4歳								
5歳	16	5歳		2	6	26	3								8	5歳								
6歳	15	6歳			6	21	1		1						2	6歳								
7歳	13	7歳		2	8	8	1									7歳								
8歳	11	8歳			1	10									1	8歳								
9歳	12	9歳			2	12									4	9歳								
10～14歳	27	10～14歳			3	18			1						6	10～14歳								
15～19歳	1	15～19歳			1	13									1	15～19歳								
20～29歳	15	20歳以上			1	10	1									20～29歳								
30～39歳	24															30～39歳								
40～49歳	10															40～49歳								
50～59歳	10															50～59歳								
60～69歳	6															60～69歳								
70～79歳	5															70歳以上								
80歳以上	4																							
合計	269	合計		13	47	363	42		3	22			2		55	合計								
前期計	281	前期計		8	39	341	58		4	6	4		2		78	前期計								
当期間/前期	0.96	当期間/前期		1.63	1.21	1.06	0.72	***	0.75	3.67	0	***	1	***	0.71	当期間/前期	***	***	***	***	***	***	***	***
増減数	-12	増減数		5	8	22	-16		-1	16	-4				-23	増減数								

(注) 印は、平成15年11月5日以降届出対象疾患

***は前期計が"0"のとき

